

表参道ジャック PL ミーティング

2007年7月24日(火)

10:00-11:30

UNU Committee Room

参加者

岸守さん、牧村さん、吉田(PL)、嶋崎(PL)

1. 表参道ジャックのねらい**「表参道を難民一色に模様替え」**

オープンカフェに、ブランドブティックが立ち並ぶファッションとカルチャーの中心地、「表参道」。新たな出会いや喜びが生まれるこの街で、行き交う人々が難民問題に触れ、そこから関心を持つ人が増えたら…と願いをこめた秋の一大イベント！

街のここかしこから、学生のみなぎるパワーとともに、難民まるごと一斉送信。同年代の遊び心をキャッチしつつ、表参道を難民一色に模様替え！

ユースならではのアプローチで、難民問題をもっと身近にしていこう。

2. 「表参道ジャック」の現時点での決定事項

- ・開催日時 → 11月28日(水)、29日(木)、30日(金) 辺り(主に29日)
(この日に high commissioner の方々が来るため)
- ・けやき会(商店街)からの条件
 - 難民などの写真を飾るのは NG(その他景観を損ねるものも)
 - ・路上での売買、ブース設置禁止

3. 表参道ジャックの内容についての案

- ・代々木公園からウォークラリー
- ・youth の活動のフィードバックの場にする(例: キャンプサダコの報告会)

これらはまだ仮の案なので、まだまだこれから案を出していく予定。

4. Youthとして夏休み中にどのように動くか

- ・ 8月中(お盆過ぎくらいから)表参道周辺のお店をまわる(100件くらい?)

→2人一組×5チーム 1チーム10件ずつ



目標:8月の時点で20件協賛を得る (→ そのお店から更なる協賛を紹介してもらう)

- ・ **UNIQLO、アルマーニ**など UNHCR と協力体制の企業に協賛についてもらい、更に紹介してもらう



そのために決めなければならないこと:

- ・コンセプト
- ・店への期待、店側のメリット
- ・メディア露出に関して
- ・表参道ジャックの内容